

## 群馬県太田市 有限会社フジウ21

代表取締役：<sup>ふじう</sup>藤生 <sup>しろう</sup>史郎 氏  
作付面積：30.2ha（ダイコン16.0ha、ハクサイ  
7.0ha、ニンジ3.0ha、ネギ2.0ha、  
キュウリ1.0ha、ナタマメ0.7ha、  
ナス0.5ha



### <取組概要>

家族で営んでいた養蚕・露地野菜（根菜）の経営から露地野菜専作の経営に転換したことを契機に、2005年に法人化。いち早く市場向けから加工業者向けの契約販売に切り替え、実需者からの需要に応えるため根菜類に加え、葉菜類、果菜類など多品目化に取り組む。

経営の中心は、総菜用途向けのダイコン生産と一次加工品の出荷。自社生産品が手薄になる時期には、青森、静岡、鹿児島などの生産者と連携し、産地リレー体制を構築することで1年を通して契約先に一次加工品を安定して出荷ができる独自の体制を構築。年間売上が2年前と比べ25%向上するなど、経営発展に貢献。

協力関係にある各産地の生産者には、自身の知見を活かしながら生産技術指導を実施。要望に応じて加工用果菜類の導入アドバイスも行うなど、提携先の生産物の品質安定と経営発展にも尽力。自社、他産地、実需者と三方良しの関係を構築。

契約先が加工処理しやすいように、要望に応じて一次加工や保冷処理を行い出荷。作物を要望に応じて栽培するなど、綿密な対応により契約先との信頼関係を構築。

作業合理化のために過度な機械化はせず、人力による作業と機械化した場合の効率を比較検討し、適正に判断。労働環境整備に関しても、従業員の適正や自主性を重んじるとともに、勤務時間内で作業が終わるように配慮。